Myway

PSIM

PSIM(Ver10以降)
HASPキー
トラブルシューティングガイド

目次

1. HASP キースタンドアロン版 3
Q: PSIM のインストール時、または起動時に以下のエラーメッセージが表示される。 3
2. HASP キーネットワーク版 4
Q: PSIM のインストール時、または起動時に以下のエラーメッセージが表示される。 4
Q 明示的にライセンスサーバーの IP アドレスを指定する方法を知りたい。 10
Q:Sentinel Admin Control Center が表示されない。 11
3. HASP キードライバの再インストール方法 12

1. HASP キースタンドアロン版

Q: PSIM のインストール時、または起動時に以下のエラーメッセージが表示される。
エラー例）

＊ No Hasp key with the correct ID found!
＊ Error：Invalid Hasp key version ！
＊ PSIM setup is unable to verify the license. Please contact Powersim to correct the problem.

A: 次の事項についてご確認をお願いします。
(1) HASP キーが点灯していること。
(2) HASP キーが正常に認識されていること。
「スタートメニュー」＞「コントロールパネル」＞「デバイスマネージャ」
＞「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」に HASP キーに該当するものが表示されているか
をご確認ください。

(1)または(2)が正常でない場合は、[3. HASP キードライバの再インストール方法]の章をご参照の上、HASP キードライバを再インストールしてください。

2. HASP キーネットワーク版

Q: PSIM のインストール時、または起動時に以下のエラーメッセージが表示される。
エラー例）
＊ No Hasp key with the correct ID found!
＊ Error：Invalid Hasp key version !
＊ PSIM setup is unable to verify the license. Please contact Powersim to correct the problem.

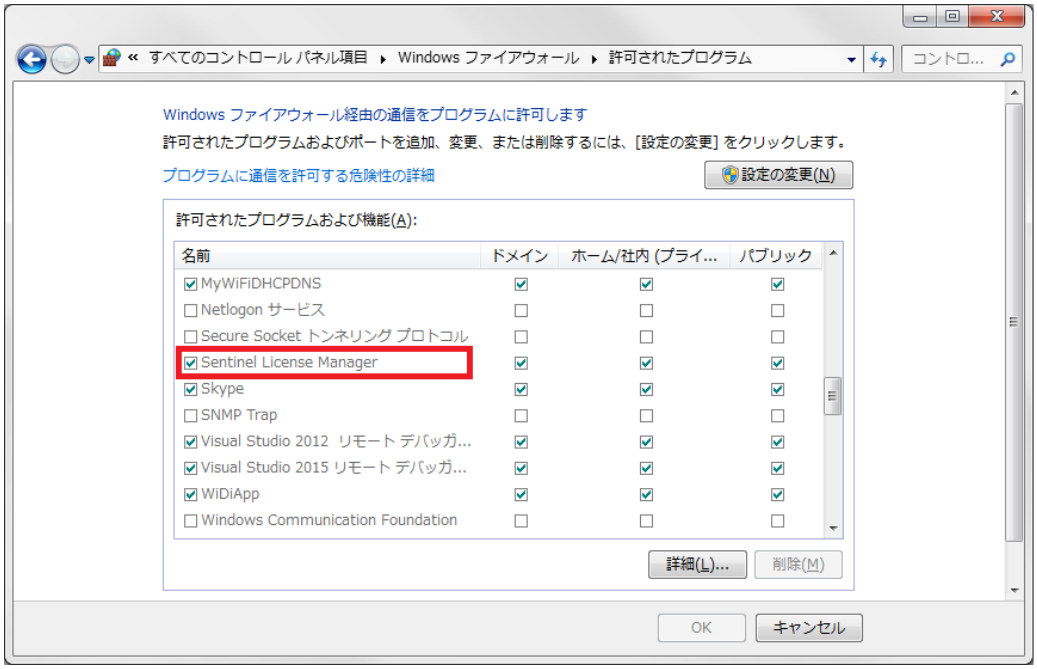
A: 以下をご確認ください。
(1) ライセンスサーバーの HASP キーの LED が点灯していること。
www.powersimtech.com/download/HaspUserSetup.zip
(2) ライセンスサーバーの HASP キーが正常に認識できていること。
ライセンスサーバーの「スタートメニュー」＞「コントロールパネル」＞「デバイスマネージャ」＞「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」に HASP キーに該当するものが表示されているかをご確認ください。

※(1)または(2)が正常でない場合は、[3. HASP キードライバの再インストール方法]の章をご参照の上、HASP キードライバを再インストールしてください。

(3)ライセンスサーバーとクライアント PC の HASP ライセンスマネージャが、それぞれ停止していないこと。
ライセンスサーバーとクライアント PC の「スタートメニュー」＞「コントロールパネル」＞「管理ツール」＞「サービス」＞「Sentinel LDK License Manager」が「開始」になっているかをご確認ください。
(4) 上記が正常な場合は、ライセンスサーバーに接続されている HASP キーを抜いて、直接、クライアント PC に接続して PSIM が起動するかどうか、ご確認ください。
その際、HASP キーの LED が点灯することを、まずご確認ください。
点灯しない場合は、[3. HASP キードライバの再インストール方法]の章をご参照の上、HASP キードライバを再インストールしてください。
その上で、クライアント PC につないでも、正常に起動できない場合は、弊社サポートまでお問い合わせください。
クライアント PC につないで正常に起動した場合はネットワークの問題ですので、以下の点をご確認ください。

(5)ライセンスサーバーとクライアント PC が異なるサブネットに属している場合、または、同一ネットワーク内に複数のライセンスサーバーが接続されている場合は、以下を参考にしていただき、クライアント PC からライセンスサーバーへの IP アドレスを明示的に指定してください。
Q 明示的にライセンスサーバーの IP アドレスを指定する方法を知りたい。
(6)ライセンスサーバーのファイアウォールの TCP と UDP ポート 1947 番を開放してください。
HASP キーは、ライセンサーバーの TCP と UDP ポート 1947 番を使用しますので、開放されている必要があります。

(7)ライセンスサーバーのファイアウォールをご確認頂き、下図の赤枠の通り、”Sentinel License Manager”を許可してください。



(8)ライセンスサーバー/クライアント PC 間で ping コマンドが通ることを、ご確認ください。

(9)その他、セキュリティソフトによってブロックされていないことを、ご確認ください。
ライセンスサーバー、クライアント PC の両方で、アンチウィルスソフトやファイアウォール等のセキュリティソフトにより、HASP キーがブロックされていないかをご確認ください。

(10)インテリジェントスイッチ等によるフィルタリングがされていないことを、ご確認ください。

上記をご確認のうえでも解決できない場合は、以下の情報のご提供をお願いします。

[1] クライアント PC のログの取得
[2] ライセンスサーバーのログの取得
[3] クライアント PC およびライセンスサーバーの診断書の取得
[4] クライアント PC の Admin Control Center の[Sentinel Keys]タブの画面の状態

[1]クライアント PC のログの取得

以下の手順で、クライアント PC のログを取得してください。

①クライアント PC 上のライセンスマネージャを停止します。
（ローカルサービスの表示 > Sentinel LDK License Manager を停止）

②クライアント PC に、以下のフォルダがあるか、ご確認ください。

<ユーザー>¥AppData¥Local¥SafeNet Sentinel¥Sentinel LDK

例) C:¥Users¥PC100¥AppData¥Local¥SafeNet Sentinel¥Sentinel LDK

フォルダが存在しない場合、AppData フォルダは隠しフォルダですので、PC100 のフォルダで AppData 以下の ¥AppData¥Local¥SafeNet Sentinel¥Sentinel LDK を手入力してご確認ください。

手入力していただいてもフォルダが存在しない場合は、Local 以下に「SafeNet Sentinel¥Sentinel LDK」のフォルダを作成してください。
この Sentinel LDK フォルダ内にテキストファイルで hasp_57747.ini ファイルを作成して置いてください。

すでに hasp_57747.ini ファイルが存在する場合は、作成しなおす必要はございません。

hasp_57747.ini ファイルには以下の 4 行のみを、記載してください。
errorlog=1
requestlog=1
broadcastsearch=0
serveraddr=ライセンスサーバのアドレス

③PSIM を起動します。

④上記のフォルダにログファイル(*.log)が生成されますので、それらをご提供下さい。

⑤ログを取得後、上記 hasp_57747.ini ファイルの内容を、以下に変更してください。

以下の 2 行のみを削除
errorlog=1
requestlog=1

以下の 2 行は、そのまま残してください
broadcastsearch=0

serveraddr=ライセンスサーバのアドレス

⑥①で停止した、クライアント PC 上のライセンスマネージャを再開してください。

[2]ライセンスサーバーのログの取得
以下の手順で、ライセンスサーバーのログを取得してください。

①Sentinel Admin Control Center を起動します。
ウェブブラウザに”localhost:1947”と入力すると表示されます。
（ウェブブラウザによっては、”http://localhost:1947”と入力する必要があります。）

②[Configuration] > [Basic Settings]タブを選択します。

③以下のチェックを有効にします。
Write an Access Log File
Include Local Requests
Include Remote Requests
Include Administration Requests
Write an Error Log File

④クライアント PC から、PSIM を起動します。

⑤以下のフォルダにログファイル(*.log)が生成されますので、それらをご提供下さい。

C:¥Program Files (x86)¥Common Files¥Aladdin Shared¥HASP

⑥ログの取得後、上記③のチェックは、元に戻してください。

[3]クライアント PC およびライセンスサーバーの診断書の取得
以下の手順で、クライアント PC およびライセンスサーバーの診断書を、それぞれ取得してください。

①Sentinel Admin Control Center を起動します。

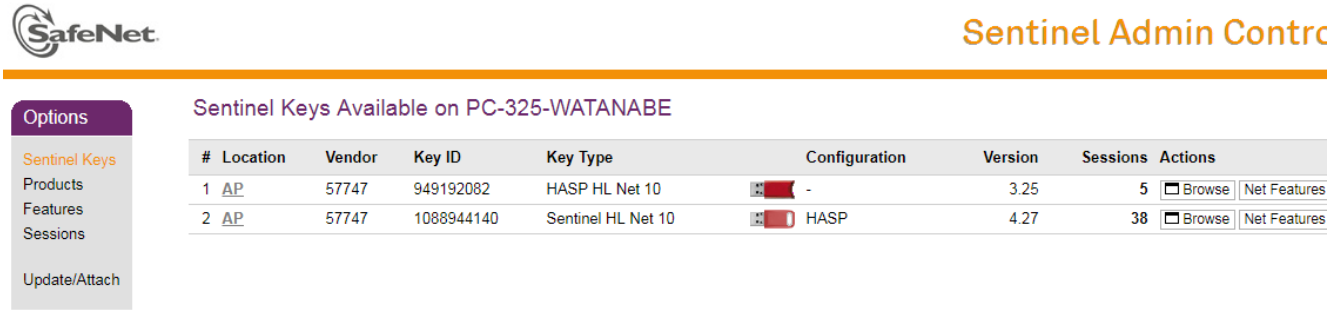
②[Diagnostics]を選択します。

③[Generate Report]ボタンをクリック > 右クリック > [名前をつけて保存]によりファイルを保存します。
保存したファイルを、ご提供ください。

[4]クライアント PC の Admin Control Center の[Sentinel Keys]タブの画面の状態

以下の手順で、クライアント PC の Admin Control Center の[Sentinel Keys]タブの画面の状態をご連絡ください。

② クライアント PC の Sentinel Admin Control Center を起動します。
②[Sentinel Keys]タブを選択します。
③画面上に、下記のようにライセンスサーバーが表示されるか、ご連絡ください。
クライアント PC からライセンスサーバーが正常に認識できている場合は、下記のようにライセンスサーバー情報が表示されます。
（下記の例では、Location 欄にライセンスサーバー名(“AP”)が、表示されています。）



Q 明示的にライセンスサーバーの IP アドレスを指定する方法を知りたい。

A: クライアント PC に以下のフォルダがあるか、ご確認ください。
〈ユーザー〉¥AppData¥Local¥SafeNet Sentinel¥Sentinel LDK

例) C:¥Users¥PC100¥AppData¥Local¥SafeNet Sentinel¥Sentinel LDK

フォルダが存在しない場合、AppData フォルダは隠しフォルダですので、PC100 のフォルダで AppData 以下の¥AppData¥Local¥SafeNet Sentinel¥Sentinel LDK を手入力してご確認ください。

手入力していただいてもフォルダが存在しない場合は、Local 以下に「SafeNet Sentinel¥Sentinel LDK」のフォルダを作成してください。
この Sentinel LDK フォルダ内にテキストファイルで hasp_57747.ini ファイルを作成して置いてください。

フォルダが存在する場合は、このフォルダ内に hasp_57747.ini ファイルを作成してください。
すでに hasp_57747.ini ファイルが存在する場合は、作成しなおす必要はございません。

hasp_57747.ini に以下の 2 行のみを、記載してください。
broadcastsearch=0
serveraddr=ライセンスサーバのアドレス

Q:Sentinel Admin Control Center が表示されない。

A: Sentinel Admin Control Center では、HASP キーの情報管理を行うことができます。
ウェブブラウザに”localhost:1947”と入力すると表示されます。
（ウェブブラウザによっては、”http://localhost:1947”と入力する必要があります。）
表示されない場合は、[3. HASP キードライバの再インストール方法]の章をご参照の上、HASP キードライバを再インストールしてください。

3. HASP キードライバの再インストール方法

＜最新の HASP キードライバのインストール手順＞

① Sentinel ドングル(HASP キー)をPCから抜いてください。

② 下記 Powersim 社のリンクより最新のドライバーをダウンロードしてくだい[HaspUserSetup.zip]。
www.powersimtech.com/download/HaspUserSetup.zip

③ ダウンロードした zip ファイルを解凍し、HaspUserSetup.exe を実行してください。